

子达克川等冰冷

ステージのS

~わぐわく!ほじかての入業!!~

期待がいっぱい!でも・・・

O

)子どもがり学校へ入学するの」)とっても楽しみなんだけど…

子どもはとっても楽しみにしていて、ワクワクしている。

親も同じように楽しみなんだけど、準備することがいっぱいあるし、

とにかく全てがはじめて!なんかドキドキ、ソワソワ…。

"子どもはちゃんと、小学校で生活していけるかな?"

"入学までに何を準備すればいいのかな?"

本日の進行役

BHARONL-IL

- 話をしたくない時は、聞いているだけでもいいですよ。
- うまく話ができなくてもいいですよ。
- •他の人が話している時は、みんなで聞きましょう。
- プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。
- ・この時間を楽しみましょう。
- ~お願い~
- ・携帯やスマートフォンはマナーモードまたは電源 OFF にご協力ください。

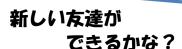
7-71

お子さんは、小学校で、どんなことを楽しみにしていますか?



保護者の方に 聞いてみました。

どんなことが心配ですか?



甘えん坊で心配…。 授業や集団生活になじめるかな。 **通学路をルール守って歩ける** かな? わたしも保護者同士の お付き合いとかPTAとか うまくできるかな?

給食全部食べられる かな?



小学校の給食 どんなのかな?

毎日楽しく学校行けるかな?

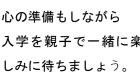
通学路… 大きなランドセルを 背負って、毎日元気に 歩けるかしら? みんなと仲良く 通えるかしら?



はやね・はやおき できるかな?

小学生の生活習慣って どうしたらいいのかな? わたしも早起き できるかしら?

大人の不安や心配は. 子どもにも伝わります。 心の準備もしながら 入学を親子で一緒に楽 しみに待ちましょう。





忘れ物しないで、🤝 ちゃんと勉強できるかな?

落ち着きがなくて話を聞かないの。 そそっかしくて、忘れ物も多いの。 どこまで自分でさせたらいいの?

入学準備はお早めに♪

おしらせ

文部科学省ホームページ

家庭教育を応援するために様々な情報を提供しています。

【家庭教育手帳】:子育て・親育ち・家庭教育を応援するために、

乳幼児編、小学生(低・中学年)編、小学生(高学年)中学生編があります。



小学校は集団で生活を送ります。生活習慣を身に付けることが、お子さんの学校生活に向かう全ての力(友だち関係、学習・学級活動等)につながっていきます。

順調な学校生活を送るためには、生活習慣を身に付けることが、大切になってきます。

みんなで考えてみましょう!

エピソード

- **愛ちゃん**「今日ね〜、忘れ物して先生に注意されちゃった〜。 『 愛ちゃん、明日は忘れ物ないようにね、しっかりね! 』って。」
 - **母** 「そう, それは失敗だったね。でもなにを忘れたの? ちゃんと確かめなかったの?」
- **愛ちゃん**「見たよ〜!でも、お母さんが悪いんだよ!お母さんがちゃんと見てくれないからよ。エンピツだって削らなきゃいけないのに! お母さん、ちゃんと削ってよね〜!」

母 「・・・・」

7-72

こんな時、あなただったらお子さんにどんな声がけをしますか?



子どもが一年生なら、親も一年生!

大丈夫、わからないことは誰かに尋ねましょう!相談しましょう!

不安や悩みは一人で抱え込まないでくださいね♪

ストレスのはけ口を 子どもに向けないよう





♪新入学♪ 親も一緒に一年生! 心の準備をはじめましょう!!

朝

- *小学校に入ったら、朝は早く起きなくちゃならないね。 「さあ、時間通りちゃんと起きられるかな~?」
- •「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身につけましょう。
- 窓を開けて光をいっぱい部屋にいれると目が覚めますよ。
- 脱いだり着たりしやすい服を用意しましょう。休みの日に一緒に脱ぎ着の練習を しても楽しいですよ。
- トイレの確認しておきましょう。和式・洋式どちらでもできるといいですね。
- 靴も歩きやすいものを選んであげてくださいね。

昼

*給食「残さずに全部食べられるかな~?」

- ・食事を20分ぐらいで食べられるようにしておくといいですね。
- 苦手な物でも一口ずつでもいいから普段から食べるように声がけしましょう。
- * 自分から「あいさつできるかな~?」
- 「おはよう」「さようなら」「ありがとう」というあいさつが自分からできるといいですね。

夜

* 入学したら慣れない学校生活で心も身体もつかれるよ。 心のケアをしてあげよう!

- 子どもの話をいっぱい聞いてあげましょう。
- ・失敗しても「頑張ったね」「次はやれるよ」などと認めてあげましょう。 『できるように一緒に考えよう』,失敗を責めず,できるまで見守りましょう。 (自己肯定感をもたせることや,意欲的な人間に育つことにつながります。)
- 良かったことは、いっぱいほめてあげましょう。一緒に喜びましょう(共感)
- 困ったときや具合の悪いとき、先生に伝えられるように教えてあげましょう。









だいじょうぶだよ 十人十色の子育で ひとりじゃないよ。 みんながいるよ! 一緒に子育てしようね

